

日本で一ばん小さい山脈

くしがた 櫛形山脈

史跡と豊かな自然を求めて

県立自然公園



櫛形山 五六七・九m ↓

願文山 二四八m ↓



本米沢屋 0254-29-2005 菅谷地区	ホテル摩周 0254-32-2131 月岡温泉
角米沢屋 0254-29-2008 菅谷地区	ホテルひさご荘 0254-32-3111 月岡温泉
鹿山旅館 0254-25-2028 川東地区	ホテルニューあけぼの 0254-32-2111 月岡温泉
多奈可や 0254-41-2013 紫雲寺地区	したしみの宿 東栄館 0254-32-2721 月岡温泉
松原館・マルシン 0254-41-2768 紫雲寺地区	さかえ館 0254-32-2424 月岡温泉
かみざいや 0254-41-2593 紫雲寺地区	ホテル太洋 0254-32-2411 月岡温泉
深澤湯温泉 紫雲の郷 0254-41-1126 紫雲寺地区	割烹の宿 いま井 0254-32-3000 月岡温泉
より路 0254-41-4311 紫雲寺地区	ホテル清風苑 0254-32-2000 月岡温泉
新発田ニューホテルプラザ 0120-26-3136 新発田市街	広瀬館 ひてんの音 0254-32-2421 月岡温泉
ホテル丸井・丸井旅館 0254-26-1205 新発田市街	浪花屋旅館 0254-32-2010 月岡温泉
ホテルルートイン新発田インター 0254-20-3355 新発田市街	村上館 湯伝 0254-32-2231 月岡温泉
新発田第一ホテル 0254-26-7333 新発田市街	白玉の湯 泉慶 0254-32-1111 月岡温泉
竹内旅館 0254-22-2465 新発田市街	白玉の湯 華菓 0254-32-1515 月岡温泉
笹川旅館 0254-22-2329 新発田市街	華菓「別邸 越の里」 0254-32-3030 月岡温泉
ますがた荘 0254-22-3473 新発田市街	月岡ニューホテル 冠月 0254-32-1000 月岡温泉

深澤湯温泉 紫雲の郷 0254-41-1126 紫雲寺地区	美人の泉 0254-32-1365 月岡温泉
新発田温泉 あやめの湯 0254-26-1173 新発田市街	ほうぶきの里 0254-32-1110 月岡温泉
城山温泉 0254-21-2626 新発田市街	

JR東日本お問い合わせセンター 050-2016-1600 電 車	横下越タクシー 0120-23-2245 タクシー
新潟交通観光バス(株)新発田営業所 0254-23-2111 バ ス	新発田観光タクシー(株) 0120-22-5600 タクシー
朝日交通(株) 0120-00-4315 タクシー	太田交通新発田中央(株) 0254-22-1166 タクシー

NPO法人 七葉 0254-29-2002 菅谷地区	新発田駅→菅谷 運行しておりますのでご利用ください。
----------------------------	----------------------------

新発田市観光振興課 0254-28-9960
令和2年4月現在



櫛形山脈縦走コース

「大沢尾根登山口(開沢)〜宮ノ入り登山口(羽黒)」(距離約10.25km、徒歩約6時間20分)

- 国道〜大沢尾根登山口**
国道7号線開沢十字路信号から開沢集落方面(山側)に向かう。「森林公園」の看板に導かれながら住宅街を抜け、ゴルフ場沿いの車道を歩く。左に森林公園への道を分け、未舗装の車道を進むと、やがて櫛形山脈登山家内のある広場に到着する。ここに中ノ沢尾根を経て縦走路に出る登山口もあるが、大沢尾根コース登山口は、車両通行止ゲート並を過り抜け、250mほど林道を行った左側にある。
- 登山口〜櫛形山**
危険のない樹林帯の尾根道で気持ちよく登れる。約1時間で主峰櫛形山の山頂に着く。頂上には見事なブナ林だ。山頂からの壮大な飯豊連峰や朝日連峰などの山岳景観は、感嘆の声をあげるであろう。
- 櫛形山〜鳥坂山**
山頂をあとに、縦走路を北に向かう。ブナ林の続く頂上はさわやかだ。山頂から10分ほど行った平坦地が「カタムリ峠」で、中世の山城特有の急坂の空堀が残っている。ブナの大木に見守られながら少し登り返すと、「森林公園・大沢尾根登山口」への分岐となる。この中ノ沢尾根コースを利用すれば、櫛形山を頂点とした森林公園口や大沢尾根登山口との周回コースを楽しむ。
- 鳥坂山〜宮ノ入り登山口**
麓岩のある急坂を急がずに下ってマイクロウェーブに向かう。巨大な電波塔は不気味だ。休まず通過し、国の指定史跡となっている櫛形山脈北端の嶺「白鳥山」を目指そう。展望楼で一服して、宮ノ入りコースを下れば、白鳥山頂から30分で登山口に着く。



菅谷超越登山口から大峰山・チェリーヒュッテ大峰コース

(距離約1.7km、徒歩約60分)
大杉の脇から沢に沿った緩やかな登山道を約15分行くと、正面に砂防ダムが見えてくる。植林された杉林の中の曲がりくねった道を登ると、箱岩峠からの林道(車道)にでる。その林道を10mほど右に歩くと登り口の標識がある。少し急な滑りやすい所があるので注意が必要だ。約7分登ると箱岩峠からの登山道分岐がある。その先50m登ると櫛形山・法印瀑への分岐に着く。雑木林を左に進むと大峰山頂の標識がある。山頂から約10分でチェリーヒュッテ大峰のログハウスに着く。

寺沢林道から大峰山、櫛形山、法印瀑周遊コース

(距離約10.9km、徒歩約5時間50分)
寺沢林道から宮平、一本松展望台を經由した大峰山展望台からログハウス「チェリーヒュッテ大峰」の前の雑木林の登山道を歩くと大峰山頂の標識がある。雑木林の中で登りは望めないが、399.5m大峰山の頂上である。ここから少し行くと標識があるので左手に道を行く。やがて道が下りとなり、箱岩峠からの林道にでる。晴れた日には二王子岳が一望にできる。ここから左手登山道を約10分で右手雑木林越しに飯豊連峰が見える。緩やかな上り下りはあるが、ヒュッテから約1時間で法印瀑の分岐にでる。これから雑木越しに飯豊連峰が見える稜線歩きとなる。上り下りを繰り返しながら約50分で開沢からの登山道分岐にでる。ブナ林を歩くと約10分で櫛形山脈の主峰に着く。復路は、法印瀑分岐まで戻り、曲がりくねった道を沢まで下る。ここは四月上旬から下旬まで、カタクリやオオバキスミレ、エンレイソウ、ヒトリシズカ等々多くの山野草が登山者の目を惹きつけてくれる花の道である。とりわけ登山道の両脇に咲くカタクリは圧巻である。沢沿いに登山道を下ると左手腹下に法印瀑、大滝が見える。ここから更に下るとやがて20分ほどで砂防ダムに出る。ここから林道歩きとなり、約20分で貝屋集落に着く。集落の中の県道を歩き駐車場に戻る。ゆっくり歩いて1日コースである。

寺沢林道から大峰山、願文山経由桜公園コース

(距離6.4km、約2時間55分)
大峰山展望広場より左手登山道を下る。急な道で足元には注意である。雑木林の中を下り約20分で願文山に着く。頂上には、承久の役で後鳥羽上皇方についた藤原家臣をまつた若酒神社がある。標高248mの小山であるが、頂上の前方には浦原平野や日本海が眺られ、中世の山城跡の面影を残す願文山である。ここから山城跡が顕著に現れる2か所の空堀を通り、雑木や杉の林を抜けると約30分で、公園一望に見える桜公園見晴らしの丘に着く。公園内の遊歩道を下り約10分で寺沢林道に出る。ここから駐車場へは、約10分である。



櫛形山脈のみどころ

越後平野の北部に位置する櫛形山脈は、飯豊連峰に源を発する加治川と胎内川に、両端を断ち切られているため、その長さは直線距離でわずか13kmしかありません。最高峰は、標高567.9mの櫛形山です。この小さな山並みが、日本で初めて作製された地形図(大日本帝国陸地測量部発行(大正三年(1914)「図版名:中条」)で、櫛形山脈と命名されたのです。堂々と「山脈」という名称を持つ山並みで、たった一日で縦走できるのは、全国でおそらくここだけでしょう。櫛形山脈は、まさしく日本一小さな山脈なのです。

櫛形山脈は、小さいことだけをキャッチフレーズにしているのではありません。小さな山並みに凝視された自然や歴史は、驚くほど変化に富んでいます。

大峰山一帯には、オオヤマザクラ、オクチョウジザクラ、ヤマザクラ、カスミザクラなど、その変種を含めて40種以上の桜が自生し、開花時には、山麓一帯が雪模様に似た花景色となります。オオクチョウジザクラ、オオミナザクラ、カスミオクチョウジザクラ、カスミオオヤマザクラの4種類が学名登録されている貴重な場所であり、大峰山縁平ザクラ樹林として、昭和9年に国の天然記念物に指定されました。

新潟県ブナ林100選に入っている櫛形山脈頂のブナ林、鳥坂山〜白鳥山周辺の南方・北方系が入り混じった多様な植生、絶滅が危惧される貴重動植物の存在など、興味深いところが随所にあります。さらに、江戸時代からの石切跡、特異な吸着性能を有する粘土の採掘場など、知れば知るほど、櫛形山脈の奥深さに魅入られてしまいます。

櫛形山脈は、多様な自然だけでなく、歴史・文化的な評価も高く、山脈の要所に構築された中世の山城は、全部で25ヶ所を数え、そのいくつかが国指定史跡になっています。鎌倉時代の女傑、板橋御前が活躍したのもこの山中です。

自然観察・歴史探訪に適した代表的な区域としては、大峰山を巡る法印瀑〜願文山区域、櫛形山を中心とした開沢森林公園区域、そして、山脈北端の白鳥山〜鳥坂山〜石切山区域の3ヶ所が、お薦めです。いずれの区域にも、駐車場や周回登山道が整備されており、目的に合わせてコース選定ができます。また、地形・植生、それぞれに特徴がありますので、一日かけて各区域をつなげる縦走を行えば、日本海に浮かぶ佐渡島や雄大な飯豊連峰の眺めを満喫しながら、山脈縦走という達成感も味わうことができます。



at! inn 中条 村上屋旅館 0254-43-2011 中条地区	
伊勢屋旅館 0254-43-2905 中条地区	
ときや旅館 0254-43-2201 中条地区	
中条グランドホテル 0254-43-6060 中条地区	
元有屋旅館 0254-43-2012 中条地区	
ロイヤル胎内パークホテル 0254-48-2211 新発田温泉	

ロイヤル胎内パークホテル 0254-48-2211 新発田温泉	
ふれあい館・サンセット中条 0254-45-3325 塩の湯温泉	
クアハウスたいない 0254-47-2660 新樽ヶ崎温泉	

JR東日本お問い合わせセンター 050-2016-1600 電 車	
新潟交通観光バス(株) 0254-43-5777 バ ス	
北部観光(株) 0254-44-6226 バ ス	
のれんす号 0254-44-7777 予約制乗り合い自動車	
胎内中条タクシー 0254-44-8888 タクシー	
藤野観光タクシー 0254-39-1015 タクシー	

新発田警察署 胎内分庁舎 0254-43-0110
胎内消防署 0254-43-3311

胎内市商工観光課 0254-43-6111
胎内市観光協会 0254-47-2723